

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和7年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立市民健康文化センター
指定管理者名	さがみはら健文パートナーズ (静岡ビル保善株式会社、コナミスポーツ株式会社)
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため (相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	所在地 南区麻溝台1872-1 ・敷地面積 7,987.76㎡ ・建物面積 4,080.63㎡ ・延床面積 6,191.22㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上2階) 1階 プール、浴室、多目的広場、多目的会議室1、カフェ 2階 多目的会議室2、茶室、講習室1・2・3、工作室(陶芸窯)、展示コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計(人)	205,863	223,696	223,274	214,597			
利用料金合計(円)	41,145,825	45,016,418	36,025,160	32,816,588			

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	2指標の平均達成度は目標値の89.6%となるため、C評価とする。 【指標1：プールの利用人数】 プール利用人数は昨年度から増加した。これは、令和5年10月から実施している市内在住の子ども料金無料化の影響が大きいと考えられ、子どもの利用人数に限ると昨年度より2,000人以上増加した。一方で、令和7年10月にレジオネラ属菌が検出されたことに伴い、プール横ジャグジーの営業停止期間が生じたことが利用者数減少の一因となったものと考えられる。今後は再発防止に向けた衛生環境の改善及び維持に努め、安全・安心な施設運営を通じて利用者増加につなげていくことを期待する。 【指標2：自主事業の参加人数】 自主事業については、第3期水泳教室における定員枠の拡大により、達成率は昨年度から10ポイント以上上昇した。また、夏季期間における「短期ダンス教室」や「鉄棒教室」、「縄跳び教室」の新規開催など、幅広い世代が参加できるプログラムの提供に取り組んだことも、参加人数増加の大きな要因となったものと考えられる。引き続き利用者ニーズを的確に捉え、参加者数の増加につながる取組を進めていくことを期待する。

指標1	
指標名（単位）	プールの利用者数（人）
指標式と指標の説明	市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進を達成させるため、成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	134,000	135,000	110,000	120,000			
実績値（人）	87,070	97,149	94,903	98,152			
達成度（%）	65.0	72.0	86.3	81.8			

指標2	
指標名（単位）	自主事業の参加人数（人）
指標式と指標の説明	市民健康文化センター全体の諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（人）	26,500	26,500	36,000	37,000			
実績値（人）	32,806	35,430	30,491	36,029			
達成度（%）	123.8	133.7	84.7	97.4			

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	【健康増進のための空間づくりの事業】⇒○ プール利用者数の増加に向け、「水泳教室」及び「夏休み短期水泳教室」の定員枠を拡大したことにより、各教室の参加者数は増加した。また、「気功・太極拳教室」や「シンプリーヨガ」など、屋内で心身のリラックスを図る事業については、参加予定人数を大きく上回る参加があり、利用者ニーズに即した事業を実施していたものと評価できる。さらに、「ダンス教室」「鉄棒教室」「縄跳び教室」を新たに開催し、幅広い世代が参加できるプログラムの提供に取り組んだことも、参加者数増加の要因となったものと考えられる。 【文化の醸成・創造活動へのサポートの事業】⇒○ 新たに地元で活躍する著名人による講座を開催したことが、参加者数の増加につながったものと考えられる。特に「郷土史講座」については、大河ドラマの影響もあり人気が高く、多くの参加者を集めるなど好評を博した。今後も利用者ニーズを捉えながら、事業内容の充実を図ることを期待する。 【地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業】⇒○ 「こどもの日プールイベント」や「健康文化祭り」などを定期的に行い、ヨーヨー釣りやプールでのボール遊びなど、大人から子どもまで楽しめる多様な催しを実施することで、施設の魅力向上に努めている点は評価できる。今後も取組を継続し、更なる施設の活性化につなげていくことを期待する。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
健康増進のための空間づくりの事業	通年	プール教室や体操教室等の事業（26事業）	○
文化の醸成・創造活動へのサポートの事業	通年	指定管理者による絵手紙教室やタウンニュースによる市内団体や講師と連携した事業（9事業）	○
地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業	通年	室内外を活用した大規模イベントやマルシェ等の事業（8事業）	○

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	昨年度と比較して総合的な満足度は低下した。主な要因として、施設の老朽化や構造上の問題に起因するプール水温や室温に関する意見が多く見られた。これらについては指定管理者のみでの対応が困難であることから、市と指定管理者が連携しながら、計画的な修繕を進めていく必要がある。一方で、「スタッフの接客態度や対応力」の項目では高い評価を得ており、利用者視点に立った丁寧な対応が行われていたことがうかがえる。今後も利用者ニーズの的確な把握に努めるとともに、アンケート結果を踏まえた事業展開を行うなど、より良い施設運営につながることを期待する。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値（％）	90.0	90.0	90.0	90.0			
実績値（％）	89.0	94.3	95.5	85.2			
達成度（％）	98.9	104.8	106.1	94.7			

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	館内に意見箱を設置し、センターに関するご意見を受け付けた。回答希望があるものについては、意見箱付近に回答を掲示した。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	本体事業収支は赤字だが、全体収支が黒字となっており、また、構成団体2社とも経営状況は良好であるためA評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
収入（a）		201,076	216,100	214,177	
指定管理料		144,982	163,934	163,934	
利用料金収入		47,237	37,512	34,974	
その他の収入		8,857	14,654	15,269	
支出（b）		239,487	225,412	218,321	
人件費		107,027	91,518	92,594	
本社管理経費		8,609	7,446	7,446	
その他の支出		123,851	126,448	118,281	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-38,411	-9,312	-4,144	
自主事業収入（d）		26,787	25,020	30,879	
自主事業支出（e）		5,840	15,027	25,070	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		20,947	9,993	5,809	
全体収支【(c)+(f)】		-17,464	681	1,665	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和8年2月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和7年度は、指定管理業務2年目として、円滑な施設運営とサービスの充実に取り組みました。プール利用者は、98,152人となり、達成率は81.8%となりました。利用促進に向けた取組や情報発信を継続して実施しましたが、広報の工夫や利用者ニーズを踏まえた取組が必要であると認識しています。自主事業参加人数は36,029人となり、達成率97.4%と目標に近い結果となりました。教室やイベント内容の充実に加え、多様なニーズを意識した事業展開が参加者の増加につながったものと考えています。貸室については、地域ニーズに応じた柔軟な対応を継続し、ダンスや楽器演奏、コスプレ利用など幅広い用途でご利用いただくことができました。一方で、平日昼間や夜間の利用には改善の余地があり、利用状況を分析し利用促進策の充実に取り組んでまいります。市民の皆様により親しまれ、安心してご利用いただける施設運営に努めてまいります。

10 所管課意見

プール利用人数については、レジオネラ属菌の検出に伴うジャグジーの営業停止期間があったことなどから目標値を下回ったものの、市内在住の子ども料金無料化の影響もあり、昨年度実績を上回る利用者数を確保した。また、自主事業については、水泳教室の定員枠拡大や各種教室の新規開催など、利用者ニーズを踏まえた取組により参加人数の増加につながったと考えられる。広報の工夫や利用者ニーズの分析などについて継続して実施し、引き続き利用者の新規獲得と定着、収入の確保などを目指し、事業の充実を図っていただきたい。

「こどもの日のプールイベント」や「健康文化祭り」などのイベントを実施し、健康増進、文化活動及び地域交流の推進に努めるなど、施設の設置目的に沿った事業運営が行われていたことを評価する。

成果指標の達成度は不十分であるものの、一定の利用者満足度を維持していることは、施設の設置目的や利用者の期待に沿って適切に運営できているものと考えられる。今後も利用者の声に耳を傾け、さらなる施設の活性化に向けた取組に期待する。

11 選考委員会意見

成果指標の評価はCであったが、施設が老朽化する中、各指標が前年度実績を上回ったことを評価する。特に、地域人材を活用した講座の実施、指定管理者のノウハウを生かした鉄棒教室、縄跳び教室の実施など、新たな取組に挑戦している姿勢を評価する。

引き続き、試行錯誤を繰り返しながら、利用者増加に向けた取組を積極的に進めていただきたい。

また、必要に応じ、施設の休所なども含め、安心安全を優先した運営に努めていただきたい。

総合評価（自動判定）

B

(60/100)



